

# 今後の気象見通し

(株式会社応用気象エンジニアリング)



# この春(2012年3月~6月)の天気の傾向

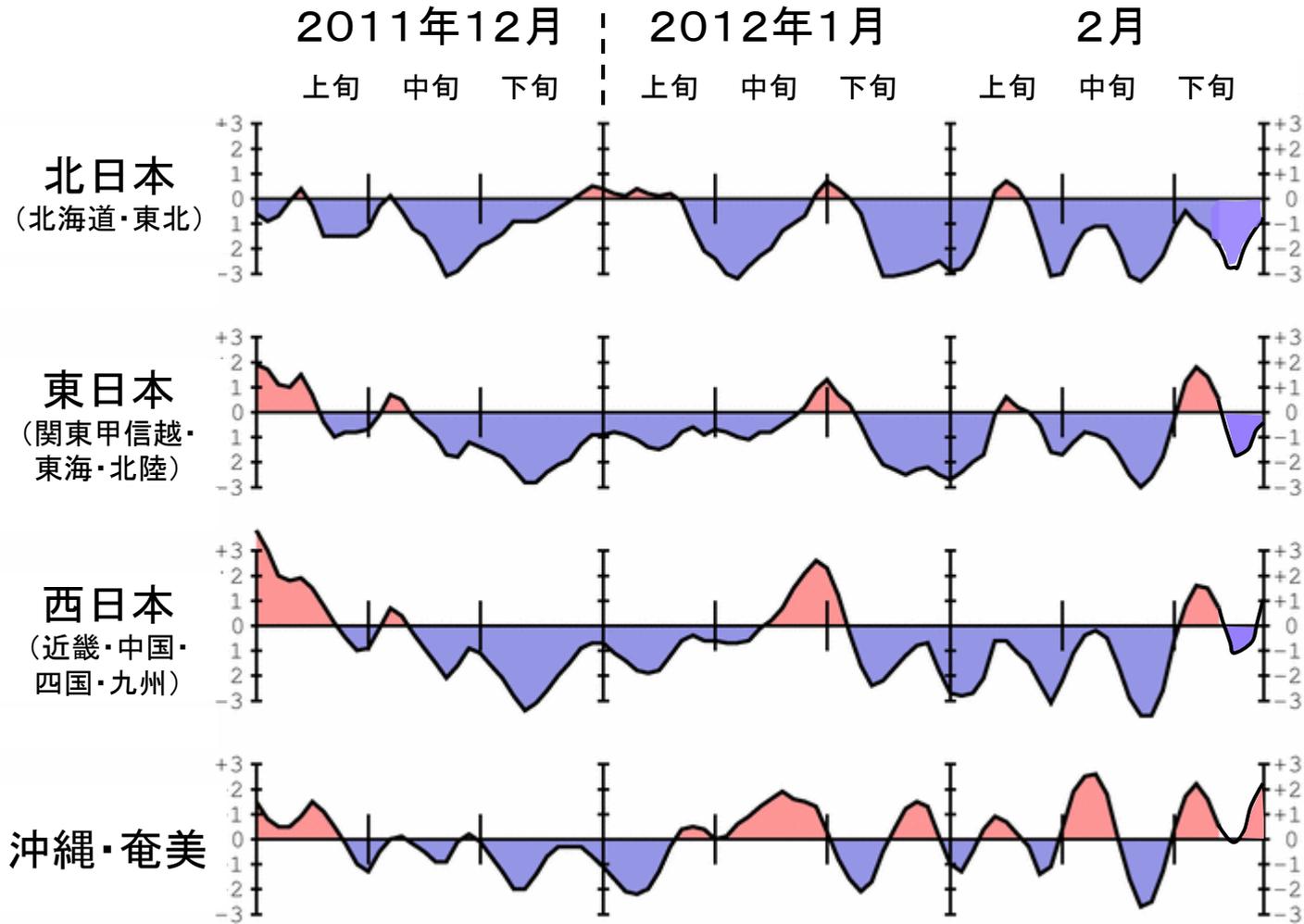
2012年 3月 16 日

株式会社 応用気象エンジニアリング

気象予報士 渡邊 道夫

# 各地域の、この冬(12月~2月)の気温経過(平年との差)

※ 気象庁発表資料

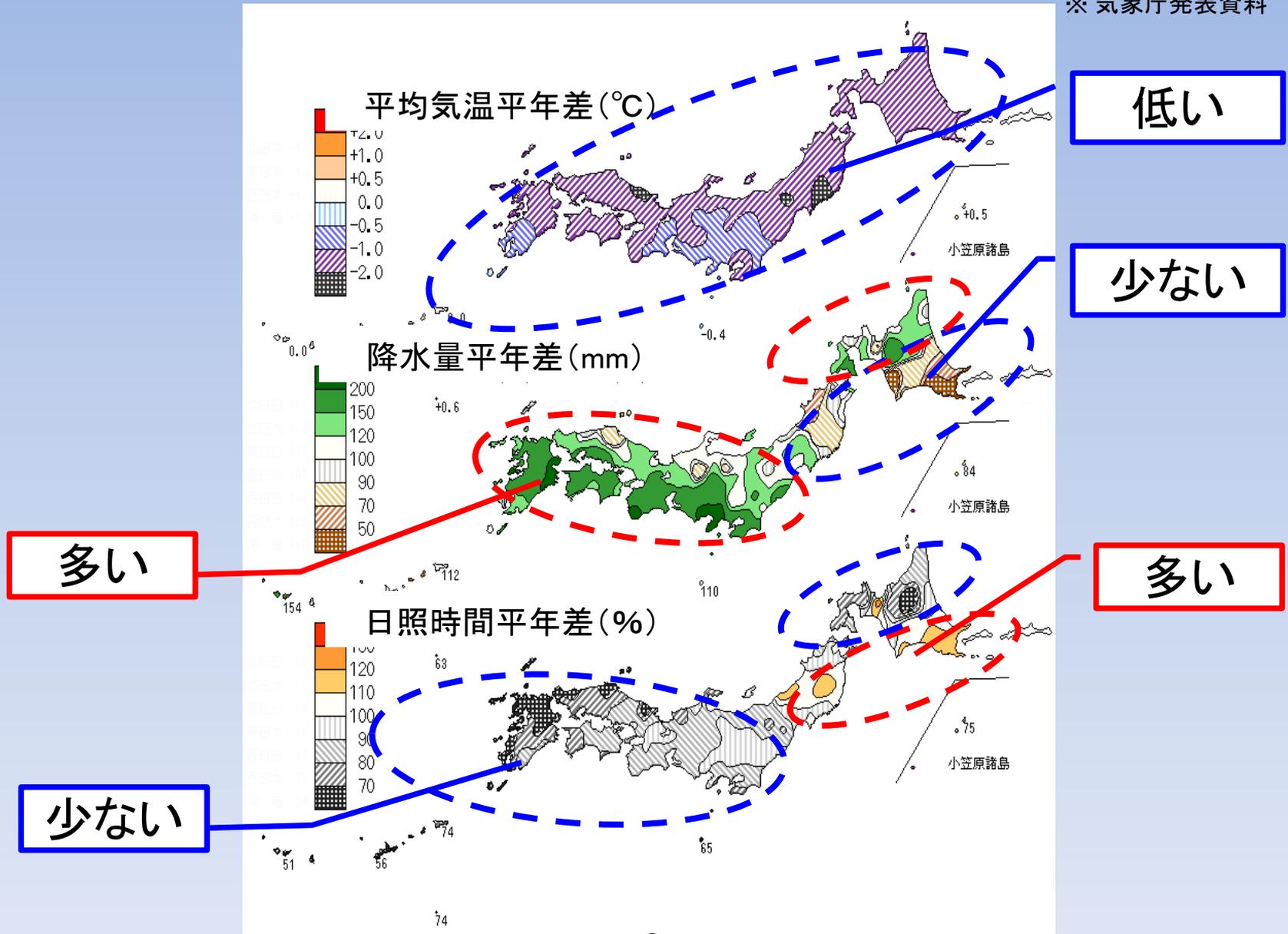


TIME SERIES OF 5-DAY RUNNING MEAN TEMPERATURE ANOMALY FOR SUBDIVISIONS

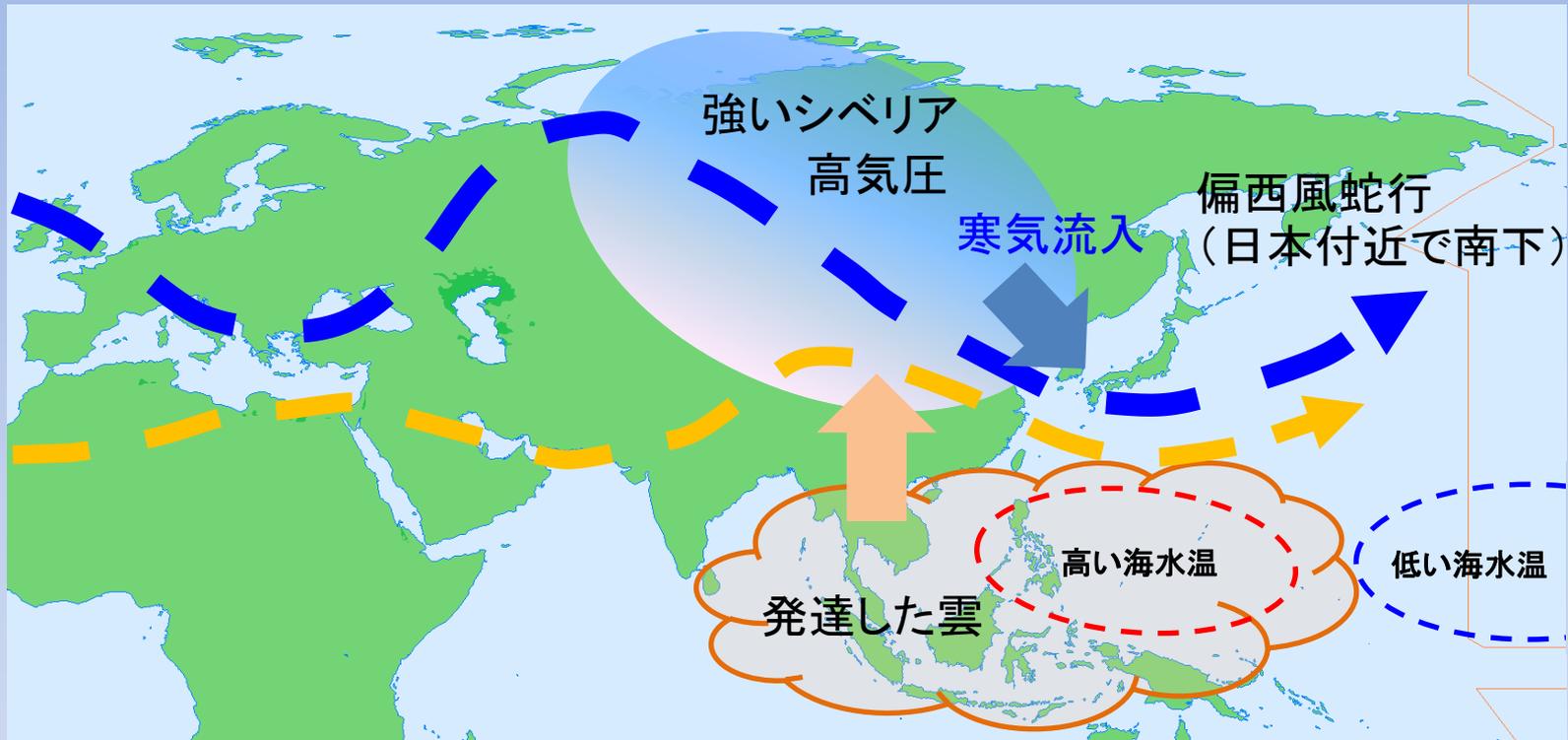
地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

# 各地域の、2月の気温・降水量・日照時間(平年との差)

※ 気象庁発表資料



## この冬(12月~2月)の平均的な大気の流れの特徴(模式図)



### 上空を流れる偏西風(寒帯前線ジェット気流、亜熱帯ジェット気流)の特徴

- ・ **亜熱帯ジェット気流**は、日本のはるか南海上の海水温が高く、対流活動が活発となって、日本付近で南に蛇行しやすくなりました。  
(ラニーニャ現象による影響と考えられます。)
- ・ **寒帯前線ジェット気流**は西シベリア付近で北に蛇行し、シベリア高気圧の勢力が非常に強くなり、日本付近に強い寒気が南下しやすくなりました。

# 春(3月～6月)の天気の動向

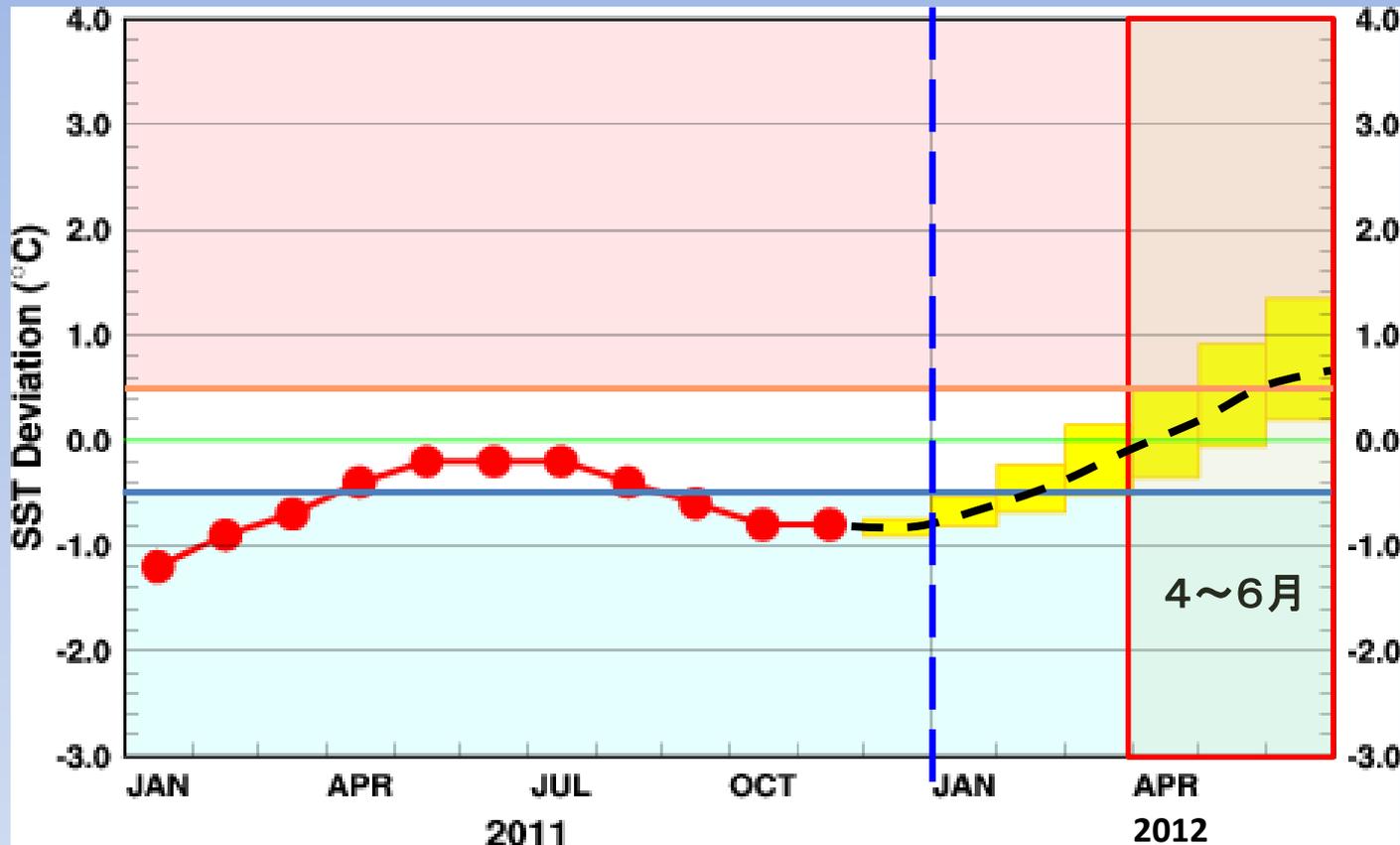
## 春(3月～6月)の天気の動向

○全般の傾向(2月23日:気象庁発表3か月予報及び暖候期予報より)

- ・ ラニーニャ現象は、この春の間に終息する見込み。
- ・ 偏西風は北上傾向で、日本付近は高気圧に覆われやすくなる。
- ・ 3月～5月は、天気は数日の周期で変わり、気温は平年並みか高め。
- ・ 6月は、前線の影響を受け、全国的に曇りや雨の日が多くなる。気温は平年並み。

# エルニーニョ監視海域の海面水温の予測

※ 気象庁発表資料



ラニーニャ現象は春までの間に終息する可能性が高い。  
夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性もあるが、  
予報モデルの特性を考慮すると、平常の状態で推移する  
可能性がより高い。

## 4月の天気の動向(気象庁発表3カ月予報)

- 沖縄や奄美を除き、天気は数日の周期で変わる。
- 北日本、東日本の太平洋側と西日本では、平年と同様に **晴れの日が多い**。
- 沖縄と奄美では、南から湿った空気が流れ込みにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、**西日本も少雨傾向**。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並みか多い
	太平洋側			
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並みか少ない	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並みか低い	並みか少ない	並みか少ない

## 5月の天気の動向(気象庁発表3カ月予報)

- 沖縄や奄美を除き、天気は数日の周期で変わる見込み。
- 東・西日本は、平年と同様に**晴れの日が多い**。
- 沖縄や奄美では、平年と同様に湿った気流の影響を受けやすく、**曇りや雨の日が多い**。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並み
	太平洋側		並み	
東日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並み
	太平洋側		並み	
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

## 6月の天気の動向(気象庁発表暖候期予報)

- 平年と同様に、曇りや雨の日が多い。(梅雨前線)
- 気温、降水量及び日照時間については、各地ともに平年並みの予想。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側	並み	並み	並み
沖縄・奄美		並み	並み	並み

## 各地域の梅雨入り、梅雨明け平年日

地 方	梅雨入り平年日	昨 年	梅雨明け平年日	昨 年
沖 縄	5月 9日頃	4月30日頃	6月23日頃	6月 9日頃
奄 美	5月11日頃	4月30日頃	6月29日頃	6月22日頃
九州南部	5月31日頃	5月23日頃	7月14日頃	6月28日頃
九州北部	6月 5日頃	5月21日頃	7月19日頃	7月 8日頃
四 国	6月 5日頃	5月21日頃	7月18日頃	7月 8日頃
中 国	6月 7日頃	5月21日頃	7月21日頃	7月 8日頃
近 畿	6月 7日頃	5月22日頃	7月21日頃	7月 8日頃
東 海	6月 8日頃	5月22日頃	7月21日頃	7月 8日頃
関東甲信	6月 8日頃	5月27日頃	7月21日頃	7月 9日頃
北 陸	6月12日頃	6月18日頃	7月24日頃	7月 9日頃
東北南部	6月12日頃	6月21日頃	7月25日頃	7月 9日頃
東北北部	6月14日頃	6月21日頃	7月28日頃	7月 9日頃

## この春の予報(まとめ)

- **ラニーニャ現象**は終息に向かう。
- 日本付近は、高気圧と低気圧が交互に通過する周期変化。
- 沖縄と奄美を除き、天気は数日の周期で変わりやすい。
- 梅雨入りは平年並み？(5月下旬から6月上旬頃)



## 春の天気による注意点(一般的な例)

- 3月～4月は寒暖の差が大きくなる。
  - 特に積雪の多い地域では、融雪による**増水**
  - 寒気の南下による**遅霜**
- 急速に発達した低気圧や梅雨前線の影響
  - **突風**を伴った**雷**や短時間の**激しい降水**
  - **強風**や**降ひょう**
  - 連続した降水による**増水**

## 夏(7月～8月)の天気の動向

○全般の傾向(2月23日:気象庁発表暖候期予報より)

- ・太平洋高気圧及びオホーツク海高気圧の勢力は、平年並みと予想。
- ・エルニーニョ現象が、発生する可能性もある。



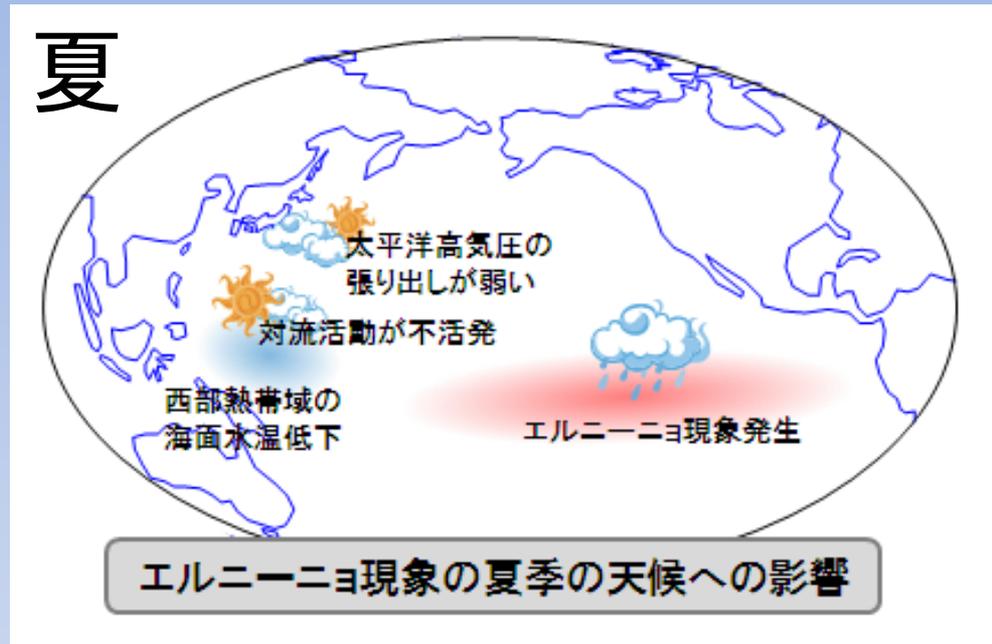
7月・・沖縄や奄美を除き、前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなる。

8月・・全国的に太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いが、オホーツク海高気圧が張り出して、北・東日本の太平洋側を中心に、低温となる時期がある。

降水量は、全国的に平年並みと見込まれる。

# エルニーニョ現象と日本の夏の天候

※ 気象庁発表資料



エルニーニョ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が低下し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が不活発となる。

このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、低温、多雨、寡照となる傾向にある。

## 今年の台風の動向(3月6日現在)

台 風	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6 個
今 年	—	—	—										0 個

3月までの平均発生数      ・・ 0.7個

現在までの今年の発生数  ・・ 0 個

終わり

※本資料は、気象庁発表の3か月予報及び暖候期予報資料を基に作成しました。